学校番号	1009

令和５年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	情Ⅰ703　高校情報Ⅰ　Python（実教出版）						
副教材等	高校情報Ⅰ　Python　学習ノート（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

座学・実技を通して、日常使っているコンピュータについての知識を深め、よい使い方は何かを考えましょう。
教科書や学習ノート、プリントを通じて、さまざまな角度から物事を捉えることができるようになりましょう。
情報の収集・編集・発信が適切に行えるように、情報活用能力を高めましょう。

2　学習の到達目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育むことをめざす。

(1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
(2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
(3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報と情報技術についての知識と技能、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法についての知識と技能を身につけるとともに、情報社会と人との関わりについては、情報に関する法規や制度及びマナー、個人が果たす役割や責任等について、情報と情報技術の理解と併せて身につける。	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力を養うとともに、問題を発見・解決する各段階で情報と情報技術を活用する過程を振り返り改善することで、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用することを通して、法規や制度及びマナーを守ろうとする態度、情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養い、これらを踏まえて情報と情報技術を活用することで情報社会に主体的に参画する態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	情報社会	情報と情報社会 問題解決の考え方 法規による安全対策 個人情報とその扱い 知的財産権の概要と産業財産権 著作権	a:情報技術、法や制度および人間との関係について理解している。 b:個人情報の適切な取扱いや、情報社会の安全や発展について考えることができる。 c:情報社会の仕組みに興味を示している。	ワークシート 制作物 考査	ワークシート 制作物 考査	観察 振り返りレポート
	情報デザイン	コミュニケーションとメディア 情報デザインと表現の工夫 Web ページと情報デザイン	a:情報伝達の手段について理解している。 b:情報デザインの活用のあり方、社会生活に及ぼす影響と役割について考えている。 c:情報伝達の仕組みについて理解し、興味を示している。	ワークシート 制作物 考査	ワークシート 制作物 考査	観察 振り返りレポート
2学期	デジタル	デジタル情報の特徴 数値と文字の表現 演算の仕組み 音の表現 画像の表現 コンピュータの構成と動作 コンピュータの性能	a:コンピュータ内部での情報の表し方や処理の仕組みを理解している。 b:情報をデジタル化することの利点や問題点について考えることができる。 c:コンピュータの仕組みに興味を持ち、積極的に取組もうとしている。	ワークシート 考査	ワークシート 考査	観察 振り返りレポート
	ネットワーク	ネットワークとプロトコル インターネットの仕組み Web ページの閲覧とメールの送受信 情報システム 情報システムを支えるデータベース データベースの仕組み 個人による安全対策 安全のための情報技術	a:情報ネットワークの仕組みについて理解している。 b:情報システムや提供されるサービスの活用のあり方、社会生活に及ぼす影響と役割について考えている。 c:情報社会におけるネットワークの仕組みに関心を持ち、興味を示している。	ワークシート 考査	ワークシート 考査	観察 振り返りレポート

3学期	問題解決	データの収集と整理 ソフトウェアを利用したデータの処理 統計量とデータの尺度 時系列分析と回帰分析 モデル化とシミュレーション	a:情報の収集・編集・発信について理解している。 b:問題解決のためのさまざまな方法を考え、目的に応じて適切な解決方法を選択することができる。 c:問題解決の方法と手段について関心をもち、問題解決に取組もうとしている。	ワークシート 制作物 考査	ワークシート 制作物 考査	観察 振り返りレポート
	プログラミング	アルゴリズムとプログラミング プログラミングの基本 配列 関数 探索のプログラム 整列のプログラム	a:簡単な基本構造のプログラムを理解し、作成することができる。 b:プログラミングにおける配列や関数について理解し、適切に利用することができる。 c:基本構造のプログラムの作成を意欲的に取組んでいる。	ワークシート 制作物 考査	ワークシート 制作物 考査	観察 振り返りレポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度